



ごあいさつ



日々母親委員会の活動に、ご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。

また、各学校のPTAにおかれましてもコロナ感染防止に気を付けながら、できる限りの活動をしていただき感謝申し上げます。

本年度は、コロナ感染者の数が落ち着いていたこともあり、5月6月の定例会時には、久しぶりに4~5名のグループでの情報交換ができました。改めて人と人との関わり合うことの大切さや情報を供することの大切さを実感したひと時でした。各学校の母親委員長から、子供たちの様子や母親委員会の活動の悩みや要望を伺い、今年度の拡大母親委員会は山形市PTA連合会の研修会と共催で「発達障害」について花輪敏男先生より講演いただき、親学「家庭教育視察研修会」はコパル・山形少年鑑別支所へ視察に行っていました。このお便りをご一読いただきまして、様々な情報を共有していただけたらと思います。

男女平等の考え方やコロナ禍によるPTA活動の縮小、児童生徒の減少による役員のなり手不足等々により、一番最初に削られてしまいやすい活動や専門部は、母親委員会ではないでしょうか。なくしてしまうのはとても簡単です。なくしてしまう前には是非もう一度原点に立ち返り、母親委員会の存在意義を再確認していただければ幸いです。

私たちは、コロナ感染防止に配慮しながらも、子供たちの幸せな未来のために、学び合うこと、情報を発信・共有することを大切に、今後の様々な活動に活かしていけるように努めていきたいと思っています。

山形市 PTA 連合会 母親委員長 高見佳澄



各校の活動紹介



蔵王第一小学校

今年度は6月に書面にてお譲り品回収（体操着）を行いました。たくさんのお返事がありがとうございました。

コロナ禍ということもあり、学校に集うことが制限されておりましたので、学校側と協議のうえ、お譲り会の開催を予定しています。

今後は活動が制限されている中でもできること、やれることを行っていきたいと思っています。



母親委員長 倉成敏枝

蔵王第二小学校

蔵王二小では、読み聞かせ「たんぽお話の会」を年8回開催しており、母親委員とボランティアの皆さんで協力し読み聞かせを行います。この活動を実施することで子供たちが読書の幅を広げ、想像力を豊かにして欲しいと考えています。

子供たちの前で本を読む事は正直緊張します。それでも、はじめに本を紹介すると「読んだことない!」と目を輝かせ、面白い場面ではクスクス笑い声が聞こえ、子供たちは本当に楽しんで聞いてくれて、こちらまで嬉しくなります。

母親委員長 東海林洋子

第九中学校

12月9日新入生説明会に合わせて制服リサイクルを行いました。卒業生から譲って頂いた制服、体操服、カバンにヘルメットなどたくさんあり、行列が出来るほどの大盛況でした。終わる頃にはほとんどなくなりました。

学ラン 500 円、他は平均 300 円での販売でしたが、約 5 万円になりました。このお金で今度は母親委員会から学校に必要な何かを寄贈したいと考えております。また年に3回母親委員会だよりの発行もしています。



母親委員長 加藤美幸

「発達障害とは」 ～正しい理解と正しい対応のために～



講師 ^{はなわ としお} 花輪 敏男 氏

FR 教育臨床研究所所長
日本自閉症協会顧問 山形県自閉症協会会長 神奈川県教育カウンセラー協会顧問
SON バスケットボール「山形レイカーズ」ヘッドコーチ

発達障害とは…生まれつきの脳の機能障害です。
養育・家庭環境によるものではありません。

自閉症スペクトラム障害 (ASD)

こだわりの強さ
社会性の障害

学習障害 (LD)

読み書き、計算が苦手

注意欠如・多動性障害 (ADHD)

不注意、衝動性、多動

教育の世界では3つの特性があります。

まわりの人から【困った子】と思われがちですが、実際は
『周囲の人の話す言葉が理解できないために、何をどうしてよいかわからない【困っている子】』です。

その子が理解できる指示・提示を行うことが大切なのです。

わが子が発達障害？
と思ったら…

ひとりで悩まず
早めに相談を

相談先…地域の子育て支援センター・家庭児童相談所・
児童相談所・保健センター・発達障がい支援センター・
療育センター・かかりつけの小児科・学校 等

☆支援のポイント(合理的配慮)

例えば…

刺激の影響を強く受けるので調整する	音に敏感…イヤーマフラーやイヤホンで音を遮断する
スケジュールをしっかり示す ※1日の中で「いつ」「どこで」「何をする」	「10時」に「〇〇病院」で「〇〇先生とお話」をするよ
ゴールを示す…ワークシステム ※見通しを持てると安心する	①どんな活動を②どのくらいの時間、量を③いつ終わるのか ④終わった後は何をするのか、何をしてもよいのか
視覚化 ※「耳より目」見ただけで分かるもの	棚や引き出しにイラストを貼る
本人にとって分かりやすい指示 ※否定の命令形は理解しにくい	× 廊下を走るな ○ 廊下は歩きます

教育こそ最大の治療なり



自分にとってどんな配慮が必要かを知ったうえで、
まわりに伝えられるように・本人から要求できるように
幼いころから教育していく

発達障害のある人は、他人との関係づくりやコミュニケーションなどがとても苦手です。
個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、
早めの「気づき」と「適切なサポート」そして、私たち一人ひとりの理解が必要です。

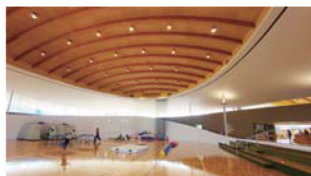


「親学」家庭教育視察研修

山形市南部児童遊戯施設

こころ

シェルターインクルーシブプレイス コパル



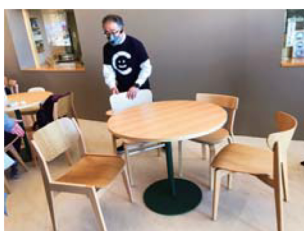
令和4年11月24日(木)に、コパル見学、山形少年鑑別支所視察に行っていました。午前中だけの短い時間でしたが、貴重なお話がたくさん聞けました。

山形市南部児童遊戯施設は、

生きる力を育むインクルーシブな遊び場、すべての子供たちがともに遊べる新しい拠点です。蔵王連峰の山並みや雲を思わせる、曲線でかたちづくりされたドーム型の建築には、わくわくする仕掛けがたくさん。遊びを通じて子供の豊かな発育を支え、一人ひとりの多様なあり方を大切に育みます。

インクルーシブとは、

性別や年齢、人種・国籍の違い、障害の有無など、異なる背景や特性をもつ人々が互いを認め合い、ともに生きることを指します。



▲休憩スペースにはいろいろなデザインの異なる椅子があります。『多様性を認め合い、誰もが仲間になれるように』というコパルのコンセプトに沿ったこだわりが、施設のあちこちに感じられました。



▲幼児用の椅子は座面の高さが裏表で変えられる物で、近くにある支援学校の生徒さんが作っていると伺いました。大人も座れるほどしっかりした作りで、子供たちへの思いと丁寧な作業に驚きました。



刺激に弱い障害児のための『常にうす暗い部屋』があったことに驚きと感動がありました。これまでの遊戯施設では聞いたことがなかったからです。「健常児はもちろん障害児も楽しく遊べるように」と、支援学校の先生や支援施設の職員さんからも意見を聞きながら建設計画をたてたそうです。

山形少年鑑別支所

やまがた法務少年支援センター

少年鑑別所とは、

- ①家庭裁判所等の求めに応じ、鑑別対象者の鑑別を行うこと
 - ②観護の措置が執られて少年鑑別所に収容される者等に対し、必要な観護処遇を行うこと
 - ③地域社会に置ける非行及び犯罪の防止に関する援助を行うこと
- これらを業務とする法務省所管の施設です。

悩みが大きくなる前に相談しましょう。相談することで解決したり、親も精神的に支えてもらったりできるのでは…。
やまがた法務少年支援センターでは、非行や問題行動に関する援助を行っています。



『鑑別』ってどういうこと？

医学、心理学、教育学、社会学などの専門的知識や技術に基づき、鑑別対象者について、その非行等に影響を及ぼした資質上及び環境上問題となる事情を明らかにした上、その事情の改善に寄与するため、適切な指針を示すこと。

生活環境に恵まれずに来てしまう子供もいるそうなので、自分の子供もですがその周りの子供たちにもほんの少し目を向けてあげられれば、一部屋三畳ほどの中にトイレ、洗面台、布団に小さなテレビの部屋を使わせなくてもよくなるのかもしれない…と思いました。



ご本人・
ご家族、学校の
先生などからの一般
心理相談

問題行動の
分析や指導方法の
提案、事例検討会に
おける助言

法教育授業、
研修・講演などへの
職員の派遣



相談専用ダイヤル

023-642-3445

やまがた法務少年支援センター (小白川青少年心理相談室)

月曜～金曜(休日・祝日は除く)

午前9時～午後0時15分/午後1時～午後5時



『山形市青少年指導センター』では、青少年の非行防止と健全育成を目的に、街頭指導・少年電話相談・少年メール相談を行っています。今回は、街頭指導に運営委員が参加し、山形駅を中心に約2時間程度、駅周辺の公園・エスパルの本屋やトイレ・カラオケボックスなどを巡回しました。この日は、修学旅行の前日にあたっている学校が多く、早く帰ってきた高校生との関わりが主でした。



指導員

※不安がらせないようにしっかり名乗る

こんにちは。青少年指導センターです。
明日から修学旅行？どこに行くの？

〇〇〇楽しみだね。気をつけて帰ってね。
修学旅行、楽しんでね。

※別れ際を大切に。次に会った時も、嫌な気持ちにならずに話せるように



高校生

はい。〇〇〇に行きます。

▼街頭指導の後、どんなことに気を配って活動をしているか、お話をお聞きました。

- ★伝え方を工夫して、お互いを尊重しながら声をかける。いきなり注意することはない。
- ★別れ際を大切にする。何度でも話せる関係性を作る。
- ★言葉をかけて、語り、諭し、気づかせて、納得させ、自ら行動を正せるように促す。
- ★声をかけるとは、“言葉”をかけること。励ましている、応援している気持ちで。



これらのことは、指導員と子供たちの関係に限らず、親子の関係でも大切なことであると感じました。また、巡回中、小さい子供が口にしたら危険だからと、ゴミやタバコの吸い殻を拾いながら歩いている姿に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。小・中学生や高校生だけではなく、小さい子供たちも見守られていることを知るとともに、そのように見守られていることで、非行の抑止効果につながっていると実感しました。

教育懇談会に運営委員が参加しました。

時代の変化に伴い、学校と地域の在り方が変化していることから、学校と地域の連携・協働の必要性が、今まで以上に出てきています。地域学校協働活動に参加する機会があるようでしたら、ぜひ積極的に参加し、豊かな子供の学びの場につなげていただきたいと思います。

山形市 PTA 連合会 母親委員会の主な活動報告

活動テーマ「いのち尊さ大切さ」～かかわる喜び つながる心 守ろう 私と家族の笑顔～

○定例母親委員会（年3回）

第1回 母親委員会（5/12）今年度の活動計画

第2回 母親委員会（6/23）情報交換会

第3回 母親委員会（2/13）今年度の反省・情報交換

○拡大母親委員会（11/5）講演：「発達障害とは」～正しい対応のために～ 講師：花輪 敏男 氏

○「親学」家庭教育視察研修（11/24）コパル・少年鑑別支所 視察

○母親委員会だより「マザーズねっとわーく」No.27 3月発行

一年間、母親委員会の活動にご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございました（運営委員一同）

令和4年度 運営委員会

●委員長 : 高見 佳澄（山寺小中） ●副委員長 : 高橋 あゆみ（一中） 渡邊 玲子（十中）

●運営委員 : 渡部 やよい（六中） 佐藤 美幸（八中） 森本 容枝（四小） 西尾 優美（九小）

阿部 鏡子（明治小） 佐藤 知美（大曽根小）

